

## I アジサイの概論

1. アジサイは伊豆半島などに自生するガクアジサイから変化したといわれる。アジサイの品種は日本で150種、欧州で改良された園芸品種が400～500種。
2. アジサイはユキノシタ科に分類されていたが、クロンキスト分類体系では草本の属をユキノシタ科とし、木本のをアジサイ科とするようである。ユキノシタとアジサイが兄弟だとはとても思えないが・・・。
3. 日本固有のアジサイは18世紀に欧州に紹介されて、多彩な色を持つ花になった。欧州で改良されたアジサイたちはセイヨウアジサイとして日本に里帰りした。大輪の多くがこのセイヨウアジサイである。
4. セイヨウアジサイはホルテンシス(普通のアジサイ)、レースキャップ(ガクアジサイ)と呼ぶ。一般的に植えられている球状のアジサイはセイヨウアジサイで日本原産のガクアジサイを改良した品種である。
5. ヤマアジサイは山の沢筋や木陰を好み小型。主に西日本に分布する。
6. イワガラミ、コアジサイ、ノリウツギ、ツルアジサイ、カシワバアジサイ、アマチャなどもアジサイの仲間である。

シチダンカ



7. 幻のアジサイといわれるシチダンカ(七段花)は130年を経て、戦後六甲山で発見されて、栽培されるようになった。
8. シチダンカはヤマアジサイが変化したものである。
9. 藍色の小花が集まった意味の集真藍あづきあゐがアジサイの語源らしい。
10. 万葉集にもアジサイの歌が2首あるそうだ。
11. アジサイの花言葉は「高慢」。場所によって色が変わるほど感性が細やかなのに。
12. アジサイはアジサイの開花日と装飾花の開花日の2つを持っている。装飾花が10日ほど早く開花する。
13. 装飾花が普通アジサイの花と思っているもので、オシベ・メシベが小さく退化して飾りで役に立たない花(不完全な雄しべ雌メシベなので果実は生じない)であって、花びらに見えるのはガクである。花序全体を目立たせ、訪花動物を誘引する効果があると考えられる。アジサイのこのような姿は人工的な品種改良の過程でできたものであるらしい。
14. 真の花(両性花)は装飾花に隠れて外からは見えにくい。



装飾花

ガク片の巨大化3-4枚  
雄しべ6-8  
雌しべ1 (花柱2-3)  
花びらは開かないものが多い。  
花びらは通常花より小さいし、開花後すぐに散る。



通常花 (両性花)

ガク片・花びら5  
雄しべ10  
雌しべ1 (花柱3)  
種子をつくる。

15. 酸性のとき青色、アルカリ性のとき桃色になる。  
アジサイに含まれる色素のデルフィニジンにアルミニウムイオンがつくと青色になる。  
日本の土壌は酸性に傾いているので青いアジサイが一般的である。同じ株でも部分によって花の色が違うのは、根から送られてくるアルミニウムの量に差があるために発生する。さらに日が経つと有機酸が蓄積されてゆくため、青色の花も赤みを帯びるようになる。(これは花の老化であり土壌とは関係がない。)
16. コアジサイは装飾花を持たない。さわやかな香りで虫を呼ぶ。(ヲガマ田にたくさん自生する。)

17. 1823年に日本にやってきた医師シーボルト（プラントハンター：1796－1866年：ドイツ人）がアジサイに深い関心を持っていた。彼が6年間に及ぶ日本での生活のなかで、愛妾の楠本滝（お滝さん）とのロマンスをイメージさせる古い学名にO t a k s a をつけたとする牧野富太郎説まであるが正しくない。（シーボルトより前に学名がつけられたため、シーボルトがつけた学名は採用されていない。）
18. アジサイは紫陽花と書かれる。白楽天の詩の一節に紫陽花が使われ、平安時代の学者・源順（みなもとのしたごう）という人がこれをアジサイと解し、以後広まったとする説がある。
19. 中国ではアジサイを「八仙花」と呼ぶ。
20. 栽培されるアジサイは次の4種
  - ①アジサイ（ガクアジサイ）…アジサイの基本種で手毬状の花形
  - ②ヤマアジサイ
  - ③西洋アジサイ（ハイドランジア）
  - ④外国種のアジサイ

## II 装飾花を持つ植物

### 1. アジサイ科

- ①アジサイ属：ヤマアジサイ、ガクウツギ、ノリウツギ、ツルアジサイ、ツルアジサイ、ガクアジサイ  
ヤブデマリの装飾花 5弁だが1辺だけ小さい
- ②イワガラミ属：イワガラミ
- ③バйкаアマチャ属：バйкаアマチャ
- ④クサアジサイ属：クサアジサイ
- ⑤ギンバイソウ属：ギンバイソウ
- ⑥バйкаウツギ属：バйкаウツギ



ヤブデマリは似ているがアジサイの仲間ではない

### 2. レンブクソウ科

- ①ガマズミ属：ヤブデマリ、ムシカリ

## III イワガラミとツルアジサイの比較・・・どちらもアジサイ科のアジサイの仲間

### イワガラミ（イワガラミ属）



ツルアジサイ（アジサイ属）



花期は5-7月  
装飾花は1個で卵型  
葉は対生、先がとがる。  
葉の長さは5-12cm  
鋭い不規則な鋸歯がある。  
葉柄は長い  
気根をだして木や岩に登る。



生態的特性も分布域も、イワガラミとよく似ている。  
装飾花の花弁は4-5枚  
両性の通常花は多数  
葉は対生 葉柄は3-9cm  
細かいのこぎり状の鋸歯  
花期：6-7月